

日本共産党

天王台後援会ニュース



〈天王台、東我孫子、高野山、泉、下ヶ戸、岡発戸、柴崎台、柴崎、青山台、青山、南青山地域〉〈部内資料〉

住所 270-1138 我孫子市下ヶ戸1825-19-103 電話 7184-2670, 発行責任者 中村良雄

テレビ ジャックした 自民党総裁選 狂騒劇

テレビは自民党に手を貸すのか

岸田首相は8月14日、9月に行われる自民党総裁選挙に立候補しないと表明しました。統一教会との癒着や共産党機関紙赤旗新聞・日曜版がスクープした政治資金パーティ収入などの裏金事件を巡り国民の政治不信は高まる一方で内閣支持率の低迷が続き、与党寄りの新聞・テレビでさえも20%台そこそこの支持率長期低迷が続いています。まさに岸田首相は国民と赤旗・日曜版に追い詰められて政権投げ出し同然の幕引きに追い込まれたのです。

思い出せば、岸田首相は2022年12月に安保関連3文書を閣議決定をし歴代政権が否定して来た敵基地攻撃能力の保有を含め、軍事費を23年度からの5年間で1.6倍の43兆円とする異例の大軍拡に踏み切りました。

退陣表明目前に岸田首相は何故戦争放棄を宣言をした憲法を踏みにじる行為を繰り返したのか。「リベラルの顔っぽい」人が粛々と悪法を通して、ハト派と言われる派閥の出身者がタカ派の政治を行い国民を欺いて来ました。

“表紙だけ変えても自民党の本質は変わらない”

岸田首相の総裁選辞退を受けてのマスメディアの動きも問題です。予想されたとはいえ、NHKはじめ民放テレビ各局の報道ぶりは異常を極めています。総裁選立候補を取り沙汰されている面々が11人いると報道。新人・若手・中堅などと持ち上げる数人の候補者。現閣僚、元閣僚、現幹事長。女性候補など次々とテレビ画面に登場させる。テレビのスイッチを

入れるとどの局のニュース番組、ワイドショー、バラエティ番組は総裁選候補者を持ち上げる報道で溢れています。どの候補者も裏金、統一教会などには触れても擁護するばかりで反省は見られない。ジャーナリストの青木理(おさむ)さんは「表面を変えても本質は何にも変わらない総裁選挙です。」と指摘しています。

テレビジャックの典型的な例は8月19日のNHKの番組です。小林鷹之前経済安保担当相が立候補表明を高校野球の準々決勝の熱戦が行われている最中に長々10分にわたり報道しました。たかが、新人の立候補表明が高校野球を中断してまで報道する重要性・緊急性があるのか。それ以降も今日まで(8月30日)入れ替わり11人の予定候補者紹介報道を繰り返しています。これがマスコミか? また報道各社の小泉候補や小林候補の取り上げ方も気になります。「若手のホープ」と小林氏を、「抜群の国民的人気を誇る」と小泉氏を紹介しています。候補者を無批判に持ち上げ、国民の目を裏金批判からそらす自民党総裁選挙応援番組にテレビジャックされています。

テレビは自民党の広報機関ではないはず。公共の公正な報道機関のはずです。

7月～8月初旬はテレビはオリンピックに占拠されました。私たちには報道機関の姿勢を注視し、真実に真面目に向き合うことが求められています。

天王台後援会会長 中村良雄

我孫子市9月市議会始まる 9月2日(月)～9月27日(金)

9月議会では、補正予算や決算が決められます。星野市長の5期目で、市政上様々な問題が、山積みになっています。特に布佐地域の小中3校統廃合問題、西部福祉センターの廃止問題、我孫子新田地区開発利用計画変更などには市民の関心が高まっています。市民の声を市政に反映させるために、日本共産党の岩井、船橋両議員の議会質問に期待します。

日本共産党の議員質問



岩井 こう議員

代表質問

- ◎我孫子市第四次総合計画基本構想・前期基本計画について
- ◎我孫子市学区統廃合・小中一貫校問題について



船橋まさる議員

一般質問

- ◎防災・減災について
- ◎市内公共施設の階段等危険個所の点検について
- ◎誰もが住みよい街へ

※社会保障推進我孫子市協議会より「現行の健康保険証の存続を求める意見書の提出を求める請願」が出されました。他2件の請願があります。

介護保険を利用して思うこと

夫婦ともども後期高齢者になり、震えるようになった医者嫌いの夫を病院に連れて行くと、パーキンソン病の診断。これをきっかけに、介護認定は？それに伴うサービスは？と、目まぐるしく市の福祉課と連絡をとるようになりました。現在は要介護3、介護事業所に週3回通っています。昨年からは、月に1回ぐらいショートステイを利用しています。ショートステイを嫌がっていた夫でしたが、転んで肋骨を骨折、顔面を強打するなど、心配が絶えず、「私も疲れちゃうから行ってほしい」と初めて言うことができました。法事があった3月には、三泊四日のショートステイを頑張ってくれました。居宅における自立した日常生活をするための情報、施設によるサービス、それに伴う費用の軽減、福祉用具のレンタル・購入等、ケアマネージャーを通じ、相談に乗っていただき介護保険を利用したサービスは日々の介護に役立っています。ケアマネージャーに時には介護の悩みもお話しでき、心が癒されたりしました。高齢者の自立支援や、家族の介護負担軽減を目指して、さらなる見直しが求められるところですが最近では「訪問介護」の報酬が下げられ、小規模介護事業所の倒産が相次ぎ、利用が簡単ではないと聞きます。介護現場で働く労働力の不足を確保し、老々介護の問題への対応も含めて、介護の社会化の実現を目指した介護保険になってほしいと、切に願うものです。そして、今の若い人が、安心して老後をすごせる社会になってほしいと思います。

(天王台K.M)

節約の食卓 「水晶鶏と翡翠なす」

—物価高騰禍でも“おいしい”をあきらめない—

- <材料> ・鶏ささみ・・・3本 ・茄子・・・ 2本
・片栗粉・・・適宜 ・塩・・・ふたつまみ
・大葉、ミョウガ、など香味野菜適宜



A・・・梅>干し1個、麺つゆと煮切り酒適宜 B・・・砂糖、醤油、日本酒、ごま油

<作り方>

- ① 茄子はピーラーで皮をむき、拍子木に切り、片栗粉をまぶす。
- ② ささみは食べやすく縦に手で裂き、薄く片栗粉をはたく。
- ③ 塩を加えて沸騰させたお湯に①を入れ、緑色が鮮やかになったら(2～3分)取り出す。
- ④ 続けて②をお湯に入れ(1分程度)片栗粉がはがれないよう、そっと取り出す。
- ⑤ ③と④の水をキッチンペーパーでとり、冷やしておく。
- ⑥ ⑤を皿に盛り、香味野菜とAを添えて出来上がり。

茄子の皮はごま油で炒め、砂糖と醤油、日本酒で味付け、きんぴらに。ご飯にピッタリ。

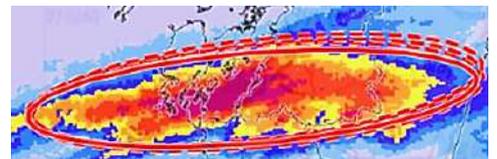
レシピ考案者の一言 (柴崎台 M.T)

昨年の夏、暑くて暑くて何も食べる気にならなかった時にこれを作ってみたら、ペロリでした。料理名も作り方も自分で考えたような気もするし、誰かのまねっこかもしれません。皮をピーラーでむいた茄子は美しい薄緑色で、見た目も涼やか。茄子もささみも片栗粉をまとわせることでツルリと食べやすくご飯にも麺にもマッチします。たれは麺つゆと梅干で仕立ててみましたが、市販のゴマダレや山椒風味のポン酢などいろいろ工夫してみてください。

※ ピーラーでむいた茄子の皮は食べやすく切ってきんぴらにするとおいしくてびっくりすると思います。最近は何も食べられないといわれているので、歯に自信のある人は皮と一緒に炒めてください。

心配してます。

温暖化の影響でしょうか、今年の暑さはひどすぎます。



我孫子は涼しかったはずなのに、クーラーをつけたまま寝る日が続きました。電気代がものすごいことでしょう。台風も、今までと全く違う進み方で、心配な日々が続きました。我孫子市は、ほとんど被害がなかったようですが、各地の被害は甚大でした。あふれたことのない川が氾濫したり、がけ崩れが起きたりしています。とても他人事ではありません。線状降水帯などという言葉が一般化しています。政府は戦争準備に熱心で、膨大な防衛予算を組んでいます。災害対策に予算を回すことこそ国民のいのちと暮らしを守ることでないでしょうか。(天王台 M.N)

2024年あびこ平和フェスティバル盛会裏に開催 羽場講演に好反響続々 平和と安定 対話と共存

第16回2024年あびこ平和フェスティバルは8月24日・25日我孫子市民プラザ・ホールで開催されました。新規コーナーのアンデパンダン展作品の出品、大正琴の演奏、うたごえ、短歌・俳句コーナーなどの文化面の充実などもありました。従来の展示パネルにプラスしてパレスチナ・ガザ問題、ウクライナ問題、オリンピックでの活動の展開など加わり見応えのあるパネルの展示に来場者は感銘を受けました。また広島高校生の描いた原爆の絵、写真は核兵器廃絶を願う市民の共感を呼びました。24日の企画では原水爆禁止世界大会・広島報告が三人によりありました。長崎被爆地出身のMFさん、法律事務所の女性、20才青年のYMさんが世界大会での現地の報告と核兵器禁止批准の署名を呼びかけました。大正琴の演奏ではその懐かしく、美しいメロディに魅了されました。さらに「私の戦争体験」では中国からの帰国者の生々しい体験を二人により切々と話されました。

2日目の25日は1時から「うたごえ」を市内有志の方のリードとピアノの伴奏で、会場参加

者60余人が30分余り唱和し楽しみました。講演は国際政治研究の第一人者であり幾多の国際機関の要職を務めた青山学院大学名誉教授の羽場久美子さんによる「戦争をどう止めるか」「東アジアで戦争しない」市民が主役の世界を！と題して行われました。第2次世界大戦後世界で軍事力でも経済力でも圧倒的に覇権を握って来たアメリカ。ここ数年、G20、グローバルサウスの著しい経済的発展とりわけ中国の目を見張る驚異的成長に覇権を脅かされると恐怖を抱くアメリカ。もはやアメリカに従属するG7の総和を凌ぐ中国の経済力。軍事力だけでも優位に立ちたいアメリカ。しかし、もはや軍事力でもアメリカ1国では太刀打ちできないグローバルサウスの力はアメリカのシンクタンクの調査でも認めざるを得ない世界の体制。しかし、アメリカにどっぷりしがみつきアメリカの尖兵として中国と対峙する自公政府。これらを詳細に解明した羽場久美子さんの講演でした。



青山学院大学名誉教授 羽場久美子氏

本の紹介 「Q&A 共産主義と自由」『資本論』を導きに

志位 和夫 新日本出版 900円

「共産主義」と「自由」とは、まったく相いれない対立物のように思われていませんか。今の日本の危機的状況、世界の資本主義の矛盾の深刻さを見て、何とかならないのかと考える方も多いと思います。この本は若い人への講演をもとに書かれています。ブラック企業が働く人の自由時間を奪っていると考え、マルクスの考えた社会主義、共産主義の社会が自由時間を人々に増やし、個人の持っている才能が無限に広がっていく社会だということが、わかりやすく書かれています。 (M. N)